



小網代通信

2017年 6月号 VOL-228

発行：小網代ヨットクラブ

編集：広報委員会

編集長：里吉美恵子

〒238-0225

神奈川県三浦市三崎町小網代1385-18

Tel&Fax 046-804-5550

今月の内容

・連絡事項	編集委員	1ページ
・「太って帰る船の旅」	氏家 理央(胡桃)	2～3ページ

連絡事項(編集委員)

1. < 6月18日(日)小網代ヨットクラブ ハーバー清掃作業のご案内 >

恒例のハーバー清掃作業が行われます。各艇より1名以上のご参加をお願いいたします。当日はKFRの開催日につき、コミッティ担当艇は免除されます。作業後に点呼を取りますので、ご協力をお願いいたします。日時：6月18日 午前8時30分～9時 集合場所：クラブハウス前

2. < テンダー置場10年目の改修工事無事終了 >

5月に行われました工事に際し、各艇の移動協力に感謝いたします。

3. < 船首と船尾に“横もやい用のロープ”の設置をお忘れなく!! >

すでに梅雨入りが宣言され、まもなく台風の季節がやってきます。従前より、荒天時の隣接艇との接触トラブルに備え、横もやい用のロープ前後2本を船首側と船尾側の手の届く場所に用意していただくこととなっておりますが、最近、用意されていない艇が見受けられます。安全な係留のための備えは各艇で行っていただくのが原則ですが、急な対応が必要な場合に備え上記ロープを準備していただくことをお願いいたします。なお、荒天時に張った横もやいロープは荒天が過ぎたら速やかな撤去をお願いします。もし、わからないことがありましたら、ハーバー整備管理委員会(三浦委員長)にお問い合わせください。office@koaziro.jp 宛のメールでも対応いたします。

4. < 危険! トビ(トンビ・鳶)にご注意ください >

小網代でも“トビ”による被害が多発しております。小網代の森に出入りするハイカーが増えたこともあり、屋外での飲食物を持った手元が狙われています。その際、手や顔などを翼や爪などで傷を負うことがあります。大人も小さなお子様にも危害が発生する可能性があります。海上にて船上だからと言って安心はできません、岸近くは特に危険です。オーニングや日傘などでガードするなど対策が必要です。

* 口コミ情報 *

第35回三浦→伊東レース(6月3日開催)に参戦した“未央”がオープンCクラスで優勝しました。今回は、伊東市制施行70周年の記念事業の一環で行われました。



【小網代ヨットクラブウェブサイト情報】 URL <http://koaziroyc.jp>

【次回予定 総務委員会 6月19日(月)18:30～21:00 駐健保会館4階会議室(JR田町駅より徒歩10分)】

太って帰る船の旅

2017年ゴールデンウィーク・クルージング報告

胡桃 氏家理央

胡桃の春のクルージングは、連休後半の4泊5日となった。いつもは連休ピークはなるべく外すが、今回は参加者5名のうち勤め人が3名いるので、休みとピッタリ同期することに。

出航前日、午後に集合してまずは買出し。ちょっと雲が多いがまずまずの天気、新緑の小網代は水辺も森の匂いがする。クラブハウス周辺では、クルージング準備中のクラブメンバー数名とすれ違う。あれを積もう、これも入れよう！話し声もウキウキと弾んで、何だか華やいだ雰囲気。

胡桃では、ケロニアメンバーの通称「シェフ」が料理担当を買って出てくれたので、皆、期待大。船内の貧しいキッチンでどう工夫するのか、ローストビーフもつくってしまう「プロはだし」だ。助手2人がお供しての買出しは、いなげやへ。

↓肉を切り分けるシェフ



精肉コーナーでも、シェフはスライスしたパックは買わない。じっくり売場を観察してから担当者呼び、「この部分を、何g欲しい」と塊で買う。途中、小網代メンバーのカート数台とすれ違う。行動パターン、同じ。皆、明日からだと言う。

胡桃買出し隊はカート2台に山盛り満杯、40cm超のレシートがトグロを巻くへビー級お買物を、1.5時間かけて敢行。

日も暮れてから船に戻ると、コンクリート桟橋につけた胡桃にAlphaがサイドバイしていた。明朝、一足先に出港するという。コースは胡桃とほぼ逆回りで重なるので、どこかですれ違うかも？

しかし、寒い！5月というのに日が落ちると深々と冷え、キャビンで恒例の前夜祭もビールが売れない。長袖の上に「いらなと思うけど、念のため」持って来たフリースを着込み、ホカロンを貼って寝袋にもぐり、就寝。ゆっくりと揺れる闇の中で、ピタピタとかすかな水音。周囲からじわじわと沁みる冷気に、水が冷たいから、船は水に冷やされて陸より余計に寒いのかも？と震えながら考察。

初日、霏がかかると何か晴れ。早起きのAlphaは影も形もない。南よりの微風～軽風で胡桃は波浮へ。ほぼ真のぼりのためタックしながら大島東岸にアプローチ。近づくにつれ、ヨットが何杯か視界に入る。やはり連休だ。案の定、波浮に入ると西岸に既にずらりとヨットの列。偶然、小網代のNeptuneを見つけ、隣に入れてもらった。ラッキー！しかし、待てよ。胡桃の出港時、



Neptuneはまだ小網代にいた筈だが…!?どこで追い越されたのか、全く気づかず。

ブームの上に整然と畳まれたNeptuneのメインセールに、「ビシッとしてますね～」と感心したら、クルーが「あ、今日はセール使っていないンで…(笑)」。機走も速いのだと2度ビックリ。

東岸の鵜飼商店で、オヤジ曰く「大島で一番有名」な揚げたてコロッケを買い、店を出たら、今度は小網代のはやとりが入港するのを目撃！胡桃の隣に入って、小網代艇が3



艇並んだ。シェフのディナーは、スパイスがきいたラムチョップのロースト。これが絶品！船でラムが食べられるとは。絶賛のうちに、即・完売。

森が近いせいかわ蚊の襲撃があり、何故か蚊が来ないという長老メンバー・川島さんを除く全員の希望で蚊取り線香を焚いて飲み会。船内が臭くなるが止むを得ない。川島さん曰く、70歳以上は蚊が刺さないというが…!?真偽は不明。

2日目、風弱くオートパイロットに舵を任せて機帆走、新島港へ。ここも横付けできる場所はもうなかったが、ひと回りすると小網代の Alpha を発見！サイドバイさせてもらう。

岸壁が高く、Alpha は上陸用に手製の縄梯子を使用中。縄と木片を綴り合せた力作。爪先が入るよう岸壁側に枕木をあて、個々の木片に全て「裏」「表」と手書きの注釈が！残念ながら写真なし。何でも自作してしまう Alpha は凄い。胡桃はこれを拝借して上陸、パルテン温泉に行ったところ外国人の多さに吃驚。ビキニの若い女性で女子更衣室はすし詰め、Excuse me と掻き分けて進む。残念ながら写真なし。フィリピンからの3人娘は、Facebook を見て



来たとのこと。シャワーも長蛇の列で諦め、早々に帰宅(船)。

3日目は下田へ。続々と船が着き、サイドバイは3杯に。漸く暑くなり、半袖に着替え日よけを張っていたら、小網代の IDEAL が入港！喫水の浅い奥の棧橋に悠々と係留。明日は小網代に帰るそう。

↓誕生日の人が！

連休最終日も遊ぶ予定の我々は、翌日は伊東へ。途中、風は10m超に吹き上がり、強風が得意な胡桃は 8.8Kt



までマーク、連休中一番の豪快なセーリングを満喫。シェフのディナーは、得意料理のローストビーフ。これも絶品。

ロケット技術者がいたので、飲み談義はヨットから飛躍して飛行機へ。船のライトは右が緑で左が赤、と教えると「飛行機と同じだね」とロケット・マン。これには皆で血相を変え、「違う違う！船に飛行機がなかったんだよ!!」と大合唱。



最後に、驚愕のエピソードを1つ。無事小網代に帰港して下船する際、腕っ節の強い1人が普通にテンドーを漕いでいて、水圧でオールを真っ二つにへし折る！という笑撃？の幕切れ。生身の人間にこんなことが可能とは。彼は20Lポリタンを両手に下げて手ぶらの私より早く走るという怪力の持主、セールアップでも彼がいると、たるんだメンハリをたぐるのが追いつかない。

おいしい旅の締めくくりに、皆で大分笑ったが、カロリー消費には貢献せず、大分太って帰宅しました。(以上)